

「えひめ GAP」の取り組み

愛媛県立西条農業高等学校
食農科学科 野菜専攻

1 はじめに

西条西中学校のみなさん、こんにちは。

私たち食農科学科野菜専攻班は、2018年10月、本校のM式養液栽培プラントにおいて「えひめGAP」認証を取得しました(サラダ菜、ミツバ、ホウレンソウ、ミズナ、ミブナの5品目)。

GAP (Good Agricultural Practice) とは、「よい農業の実践」を意味し、農業生産工程における「食品の安全」、「環境の保全」、「生産者の安全」、「人権の保護」の実践により、持続可能な農業生産、より良い農業経営を目指すものです。

2 取組内容と成果

(1) サラダ菜『うまいぞ菜』生産工程のリスクを考える。「リスク評価表」の作成。

【播種 定植 栽培管理 収穫 洗浄 調整・包装 施設・設備 養液】

(2) リスク管理

【整理・整頓・施設・設備の保守整備、薬剤保管庫設置 PH・ECメータ(更新)、標識設置、使用済み養液の活用】

(3) 「チェックシート」の作成

チェック項目の確認(227項目)

(4) えひめGAP認証マーク、認証表示



	愛媛県認証基準による表示
	県認証農産物(養液栽培)、県GAP認証農産物 削減対象農薬: 栽培期間中不使用
	産地責任者又は栽培責任者 愛媛県立西条農業高等学校 別府 和則、明日 智美 愛媛県西条市福武2093番地 0897-56-3611 確認責任者 愛媛県立西条農業高等学校 校長 久保 浩治 愛媛県西条市福武2093番地 0897-56-3611
	県の認証状況 http://www.pref.ehime.jp 削減対象農薬の使用状況 栽培期間中不使用 <small>(削減対象農薬: 化学合成農薬から有機農産物のJAS規格で使用可能な農薬を除外したものを)</small>

100%有機メロンに初挑戦中!
8月初旬に収穫予定です!

3 まとめ

- (1) 私たちは、GAPに取り組むことで、自分たちでリスク課題をみつけ、改善していくことの大切さに気づいた。そして、この取り組みが持続可能な良い農業につながると考える。
- (2) GAP認証をうけたことで、自信をもって市場へ出荷することができ、消費者へより安心・安全な生産物を届けるという誇りと責任感が生まれた。
- (3) 今年は「100%有機メロン」にも挑戦している。これからも、GAPを生かした西農の農産物を地域に届け、地域とともに、よりよい農業を作っていきたい。